

平成23年度優先度判定パブリックコメント結果

No.	属性	年代	府省名	施策番号	施策名	ご意見概要	ご意見	その理由
7601	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24190	科学技術振興調整費	このまま推進すべき	特に若手研究者の自立支援を推進する「若手研究者養成システム改革」は、今後もっと強く推進すべきだと思います。	若手研究者のキャリアパスとして、非常に重要な施策です。国の施策として、「若手研究者養成システム改革」を推進することは、大学側にも業績のでない古株の世代交代を迫ることになり、日本の研究の発展に寄与すると考えられます。ただし、短期間で成果を求める制度は、研究の質を落とすことにもつながりかねないため、長期的な視野をもってじっくりと研究を進められる若手研究者には、最低10年の継続的なサポートが必要だと考える(もちろん適切な審査体制が必須である)。
7602	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24008	テニュアトラック普及・定着事業	このまま推進すべき	若手研究者が今後も優れた研究をするために、予算を付けて人材育成を支援するべきだと思う。	日本では、きわめて優秀な若手研究者が多いにもかかわらず、その活躍の場、研究を遂行する場が余りにも少なく、国立大学の教員には数十倍もの倍率でないとそのポストを得られない。優秀な人材を活用できないのは人材や国家予算の無駄になってしまう。このため、日本の科学の発展のため、本事業の推進を希望する。
7603	その他	30～39歳	文部科学省	24137	アルマ計画の推進	このまま推進すべき	日本が主導していたプロジェクトで、予算のために、遅れをとって、他国との競争で遅れをとることは、改善して、最先端の研究の競争で主導してほしい。	このような大規模プロジェクトは数十年に1度のもの。ここで遅れをとっては今までの苦労やかけた費用が報われず今後の展望も開けない。
7604	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24119	ナショナルバイオリソースプロジェクト	このまま推進すべき	重要な案件なので、このまま維持すべきである。	資源の維持は、国家プロジェクトとして行わないと、大規模で価値の高い資源の維持は難しいから。

7605	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	本施策は研究者の自由な発想に基づき、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたる「学術研究」の基盤である。	多様な資金獲得制度があつてこそ多様な人材、研究が育ち、ユニークで貴重な成果が生まれると考えるから。
7606	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24140	RIBビームファクトリー計画の推進	このまま推進すべき	J-PARC、RIBFの推進やKEKB高度化など、先端加速器による基礎科学を進めてほしい。	この加速器は世界最高の性能をもち、世界の研究者から待望されていたものである。この計画を一層推進することで、日本が当分野で世界を確実にリードできる。
7607	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24012	博士課程教育リーディングプログラム	このまま推進すべき	本計画は、博士後期課程を推進する計画であるため、推進していくべきであると考え。支援内容として、国際舞台での発表などを積極的な支援を行うべきである。そこで、学会参加費や渡航費などを対象とした財政的支援を望む。さらに、支援対象研究者が集中して自身の研究に打ち込むために、研究者の生活についても引き続き財政的支援を行う必要があると考える。	国際社会でのリーダーを育成するためには、国際社会における経験が不可欠であると考え。そこで、国際社会へ進出の負担を軽減するために、海外の学会等への参加への支援が必要であると考え。研究者が自身の研究に打ち込むためには、生活への不安の軽減が必要であると考え。生活への不安がある場合、生活費を稼ぐために研究外の作業が必要となり、自身の研究の進捗へ影響してしまう。また、本施策が効果を挙げるためには、長い期間の教育が必要であると考え、学部学生が博士研究員を目指すためにも、将来の生活の不安の軽減が必要であると考え。
7608	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24131	ライフサイエンス基盤研究領域事業(内、生命分子システム基盤研究)	このまま推進すべき	さらに強化して推進すべきです。最新の技術を用いた実験機器をそろえ、もっと多くの研究者で行うべきプロジェクトであると考えております。	タンパク3000プロジェクト、ターゲットタンパクなどのプロジェクトで培った高い技術や知識を応用して、国民の福祉になるプロジェクトを推進すべきである。現在、理研理事長ファンドで創薬医療技術プログラムが推進されているが、これを行うにあたりさまざまな領域とのネットワークもできあがっている。アカデミアで創薬医療技

							術の革新を目指すことは、国の未来に重要であると考えられる。タンパク質立体構造の研究はその鍵である。
7609	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	60歳～	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	<p>基礎研究は一時の流行だけに左右されるのではなく、息の長い積み重ねが必要です。我が国では大向こう受けを狙った一時的な研究資金を特定の有名研究者につき込む傾向が近年顕著ですが、こういったことが続くと、結果的に国の予算の無駄遣いになるばかりでなく、我が国の研究体制そのものの破壊につながります。研究は富士山のように広い裾野があつて初めて高い峰がそびえるのです。いろいろな個人対象の研究資金は整理し、文科省関係は科研費とCRESTにまとめて、安定的な体制の構築を目指していただければと思います。</p>
7610	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	厚生労働省	25105	生活習慣病・難治性疾患克服総合研究(1)循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究(2)腎疾患対策研究(3)免疫アレルギー疾患等予防・治療研究	このまま推進すべき	<p>これらの疾患は、罹患者が多いため今後も継続して研究を推進していく必要がある。特に製薬会社等民間ではできない、疫学研究や萌芽的な基礎研究に対しての支援が重要であると考えられる。</p>
7611	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24136	世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)	改善・見直しをした上で推進すべき	<p>改善が必要に見えるが、実際はよく分からないのが本当。</p> <p>むりに外国人を呼ぶのは無駄がないだろうか。</p>
							<p>本事業は、都市部に資金や人材が集中する中、産、学とも数が少なく、また小規模である地方では人的交流やシーズとニーズのマッチング</p> <p>本事業は地域の産学官がそれぞれのポジションで成果を出しながら連携し、取り組む事業であり、従来の産学官</p>

7612	その他	60歳～	文部科学省	24181	イノベーション	このまま推進すべき	などの面で特色を活かして、地域活性化に極めて重要な役割を果たしています。事業の趣旨でも地域の産学官基盤の構築等による地域活性化を目指しており、大いに賛同し、継続、推進されるようお願い致します。	連携事業に見られる大学等のシーズを産に技術移転するばかりでなく、出口から、すなわち産の商品化を踏まえて大学等の研究をリードしていく側面も有しており、地域の活性化を促進するために大変重要である。
7613	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24161	ITER計画(建設段階)等の推進	その他	ITER計画に対する人的・金銭的貢献に対する見返りをよく検討した上で計画を推進すべきと考える。	ITER計画は実証炉がフランスに建設されることが決定され、日本はシミュレーションなどの分野で貢献することになっている。しかしながら、六ヶ所村に導入されたスーパーコンピュータは日本製ではなく、日本からの人的・金銭的貢献に対する産業界・学术界への見返りが不十分である。スーパーコンピュータは日本製を使用するなど国内産業への見返りがある形で計画を推進すべきである。
7614	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24122	ターゲットタンパク研究プログラム	このまま推進すべき	ターゲットタンパク研究プロジェクトは推進すべき重要課題であると考える。	ポストゲノムの時代へと突入した現在、今後の生命現象の解明においてタンパク質研究が脚光を浴び、バイオ研究において大きなプライオリティーを持つてくることが考えられる。また、薬剤開発においては、タンパク質の立体構造を元に設計された薬剤も今後増えてゆくことが考えられる。このような流れの中で、重要課題に対し各研究機関との連携を取り、国家規模で取り組むこの研究プログラムは将来的に重要な意味を持つと考える。
	大学・公的研究機関	40～	文部		博士課程教	このまま	日本の将来を背負う優秀な人材の育成は社会に取って最重要課題である。昨今の経済状況を反映して将来に不安を覚えるあまり、博士課程を終了せず就業する優秀な大学院生が増加して来ているが、この	90年代より行われた大学院拡充の第一陣はほぼ収斂したかに見られる。しかし、同時に大学院教育のフォーカスがぼけて、トップランクの人材の育成という目的

7615	(独 法・公 設試 等)	49歳	科学 省	24012	育リーディ ングプログラム	推進す べき	流れに歯止めをかける ために有効な施策であ る。是非とも推進してい ただきたい。また、博士 号取得者の能力や就業 について企業の意識改 革を必要としていること にも配慮がなされてい ることは評価出来る。	達成の阻害要因となっ ている部分もある。今一 度、大学院教育のあり 方を検討し本来の機能 を果たせるべく軌道修 正をすることは、日本の 将来にとって望ましい方 向である。
7616	その 他	60歳 ～	文部 科学 省	24133	科学研究費 補助金	このまま 推進す べき	科学研究費補助金で行 われている研究は、直 ぐ社会に還元できるも のでないが、年月がた って我々の生活に大き く役立つものだと思わ れるため、これからも十 分な支援が必要。 要求どおりに予算を認 めること望む。	科学技術が進歩するこ とは生活にとって重要 である。
7617	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	30～ 39歳	文部 科学 省	24131	ライフサイ エンス基盤研 究領域事業 (内、生命分 子システム基 盤研究)	このまま 推進す べき	生命の分子システムを 解明することは、人類に とって非常に重要であ り、そのための研究は 継続していく価値があ ると思います。	生命の分子システムを 解明し、理解することで 医学への応用などの未 来につながり、生命の 成り立ちから過去を知 る・探ることができると 思います。
7618	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	60歳 ～	環境 省	29106	地球温暖化 対策技術開 発等事業	このまま 推進す べき	炭酸ガスは地球環境制 御に大切です。	炭酸ガス佐九玄制御は 地球環境に大切に科学 技術的の可能であるこ とがわかっています。
7619	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	30～ 39歳	文部 科学 省	24119	ナショナルバ イオリソー スプロジェ クト	改善・見 直しをし た上で推 進すべ き	農林水産省のジーンバ ンクとの連携をはかる	重複しているものある と思われるし、互いに補 完するものもあると思 われるから
7620	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	40～ 49歳	文部 科学 省	24140	RIBームファ クトリー計 画の推進	このまま 推進す べき	RIBFは今まさに本格的 な稼動をはじめたところ で、新しい同位体を多 数発見するなど、華々し い成果をあげており、原 子核の実験研究におい て世界をリードしてい る。今後、欧米やアジア の他の国でも新施設が 稼動し、競争が激しく なることが予想される が、RIBFにおける大型装置	大型加速器を使用する 原子核研究は、小さな 研究所や研究室で行 うことはできず、RIBF のような施設を利用す ることになる。RIBFに おける研究環境の優位 性を維持することは、 国内の人材育成に役立 ち、また優秀な人材を 外国から集めることに もつながる。さらに実 施される研

	等)						の投資や運転資金を減らすことなく研究環境の優位性を保持すべきである。またこれにより研究人材(大学研究者・学生等)の育成に大いに役立つはずである。	究は宇宙と原子核の成り立ちを明らかにするという、基礎科学の発展に貢献するものであり、それに携わるとはわが国の誇りになる。
7621	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24014	頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣事業	このまま推進すべき	現在の日本における、留学生の数は年々少なくなっているという事実は、日本の学力に大きなダメージを与えていると思われる。現在の若手のチャレンジ精神が低いと説教を言うことは簡単だが、海外へ派遣させる場を作ることは非常に困難である。それは現在の不況にも影響されているのかもしれない。しかし留学する場を増やし、世界水準の研究に触れる機会を増やすことは非常に重要だと思う。	世界水準の研究に触れることで、発想力・開発力が成長すると思われるからです。それは現在の不況を打破すること、日本を元気のある国にするための重要な鍵となるはずで。よって私は頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣事業を力の限り応援します。
7622	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24116	オーダーメイド医療の実現プログラム	このまま推進すべき	これまでに本施策によって収集された、膨大なサンプル(DNA・血清)および臨床情報は大変価値のあるものであり、その維持と活用は、社会全体に直接的かつ迅速に還元できる重要な意味をもつため、本施策はきわめて優先度が高いと考えられる。	科学技術分野の最重要課題として「ライフ・イノベーションの推進」とあるように、国民が健康的に生きるための施策は重要である。その中でも、本施策によりつくられた日本人集団のバンク(DNA・血清・臨床情報)は、他に類を見ない大規模なものであり、今後、医学分野の基礎研究の発展のみならず、疾患の予防・治療に直結する可能性を有すると考えられるため、優先度が高いと思われる。
7623	大学・公的研究機関(独)	20～29歳	文部科学省	24143	グローバルCOEプログラ	このまま推進す	このまま推進すべきと考えます。	タイムズ・ハイヤー・エデュケーションの世界大学ランキングで、日本の東京大学がアジアトップの座を香港大学に譲ってしまいました。これは、世界的な評価が後退していることを示唆し、他国からの人材と協力して研究を行っていくことが難しくなっています。評価低下の理由の一つが「高等教育に

	法・公設等)	省	ム	べき				
						おける最近の財政削減」が挙げられているようです。日本の大学院の教育研究機能を一層充実・強化、国際的に卓越した研究基盤の下で世界をリードする人材育成を図るこの事業を推進し、国際力を高める必要があると考えます。		
7624	民間企業	30～39歳	文部科学省	24020	イノベーションシステム整備事業(イノベーション成長戦略実現支援プログラム)	改善・見直しをした上で推進すべき	地域の貢献・支援機能の強化という視点は素晴らしいと思いますが、研究自体の駆動力となる助成金または補助金も重要です。地域の基盤研究となり得る研究テーマに対しても助成支援が為されるよう制度設計の改善を望みます。更に、関係府省の支援メニューについても、メニューを用意するだけではなく、文部科学省より各メニューを効果的に活用するアテンドが重要と思われます。	研究・開発に対するインフラ整備は大変重要ですが、そのみではコンテンツ(研究テーマ)を効率良く成長させることが困難です。インフラを現実的に起動させるためにも、初例として研究テーマを推進する必要があります。スタートアップ時には研究テーマ自体にも補助が必要と考えます。また、イノベーションシステム整備事業で得られつつある成果の更なる育成の場としてこの施策を活用できるのであれば、尚のこと研究費が必要です。
7625	民間企業	20～29歳	経済産業省	27134	グリーン・サステイナブルケミカルプロセス基盤	このまま推進すべき	エネルギーコスト削減の面からも是非推進するべき	同上
7626	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24006	ライフサイエンスデータベース統合推進事業	推進すべきではない	必要性がなく、推進すべきでない。	ライフサイエンスデータベースを統合する必要がない。既に遺伝子やタンパクのデータベースは充実されており、いままさら予算をつぎ込むべきでない。むしろ、科学研究費補助金や戦略的創造研究推進事業等の基礎研究のための研究費を充実させるべきである。
7627	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24006	ライフサイエンスデータベース統合推進事業(仮称)	このまま推進すべき	このまま推進すべき	研究者の採取したデータをデータベースとして維持管理する組織は必要。
	大学・							

7628	公的研究機関 (独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	より充実させて推進すべきである。	すべての大きな成果は、個々の研究者の自由な発想による地道な研究から始まっており、これを底辺を広げて推進する必要がある。
7629	大学・公的研究機関 (独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24141	特別研究員事業	このまま推進すべき	若手研究者が自立した研究を推進するのに必要な制度だと考える。	若手研究者が自立した研究を推進するのに必要な制度だと考える。
7630	大学・公的研究機関 (独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24008	テニュアトラック普及・定着事業	このまま推進すべき	テニュアトラック制度は、若手研究者のモチベーション向上、および持続可能な知の拠点形成として、投資に見合ったリターンが見込める制度だと思われる。段階的には大学の自主性に任せる必要はあるが、必要な事業として、このまま推進を行うべきである。	技術の海外流出が叫ばれる中、ポスドクを含む若手研究者のモチベーションを高め、知の拠点を形成していくことは緊急の課題である。既に各大学共に、研究の強みを打ち出し、新技術新産業の創出に向けた活動を始めているところではあるが、新成長戦略の中にもある「持続可能な社会」を形成するためには、若い研究者を成長させ、「人的資源」として彼らの能力を引き出すことが重要である。本事業は重点的な支援制度として評価する。
7631	大学・公的研究機関 (独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24174	革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ(HPCI)の構築	このまま推進すべき	本プロジェクトで完成されるスーパーコンピューターは世界最高の性能を持つであろう。研究とは実験と計算の両側面からなされるものでありこのコンピューターは日本がぜひとも手にすべきものである。	世界一の性能のスーパーコンピューターによって与えられた結果は、日本の実験研究の結果を実証するために確実に必要である。
7632	大学・公的研究機関 (独	30～39歳	文部科学省	24178	大型放射光施設	このまま推進す	RIBF、J-PARC、Spring-8など先端加速器による基礎科学は、現在我が国は世界最高水準にある。日本が基礎科学で世界最高水準を維持することは、国民の教育レベルを高め、将来の新	基礎科学は次世代のイノベーションの種を生み出すものであり、基礎物理のみならず化学・生物学研究にも適用可能な当該分野を軽視することは科学技術の将来を閉じる事に値する。研究・技術水準は人材に寄るところが大きく、世界最高の施設で研究を行うことは基礎科学の

	法・公設等)		省		(SPring-8)	べき	技術や産業の創出につながるものである。長期的な日本の発展を促すためにも、当該分野を引き続き推進することで、日本が基礎科学分野で世界をリードすることが出来る。	若手研究者ならびに技術者の育成にとってきわめて有効である。さらに当該分野は国際協力が盛んであり、多くの外国人研究者が参加している。今後さらに海外からの人的、資金的な協力が得られると思われる。
7633	大学・公的研究機関(独法・公設等)	60歳～	文部科学省	24173	先端計測	このまま推進すべき	科学研究の基盤をなす計測機器の開発が遅れている。舶来崇拜の考えがぬけていない。アジアの追撃によって日本の産業が空洞化しようとしているとき、喫緊の課題である。	もの作りの基盤は計測機器であり、ノーベル賞研究にとっても必須である。
7634	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24180	ナノテクノロジーネットワーク	このまま推進すべき	本事業は最先端の設備共用化を行うことによって、研究開発のスピードアップ・効率化をはかり、大学・公的研究機関が所有・維持してきた英知をより有効に社会にフィードバックできる仕組みであることから、継続した事業推進が非常に重要であると考えます。	ナノテクノロジーはあらゆる産業・研究分野に必須となってきているが、その利用に関してはまだまだハードルが高くとらえられがちである。そのような壁を取り除き、幅広いユーザーにナノテクノロジーが活用できる仕組みを途切れることなく提供していくことは、我が国からのイノベーション創出には欠かせないと考えられる。
7635	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24173	産学イノベーション加速事業【先端計測分析技術・機器開発】	このまま推進すべき	先端計測の、磁気力場中での結晶成長に関する課題について推進すべきと思います。	この研究課題は宇宙での結晶化の代替技術になる可能性があるという話を聞いています。宇宙実験はコストや順番待ちの面で問題があるとのことですので、代替技術には大きな期待ができます。
7636	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24013	理数学生育成プログラム	このまま推進すべき	理数分野に関して強い意欲ある学生の能力や研究意欲をさらに高めることを目指し、大学学部段階における理数系人材育成に特化した取組を支援(理数学生育成支援事業:理数に優れた能力、意欲を持つ学生に対し、特別の体系的なカリキュラム・セミナー・早期研究室配属の機会を提供する取組を支援するもの)する	理数分野に関して強い意欲ある学生の能力や研究意欲をさらに高めることを目指し、大学学部段階における理数系人材育成に特化した取組を支援する等の事業は、学生の理系離れが進む中で、理数分野全体のの人材育成を強化

							とともに、全国の理系学部生が研究成果を発表し競い合う場(サイエンス・インカレ)を構築する事業は非常に重要である。	することにつながることであり、非常に重要な事業である。
7637	民間企業	40～49歳	文部科学省	24177	J-PARC ミュオン	このまま推進すべき	ミュオン科学は、21世紀のエネルギーを生み出す根本を担う施設であり、他研究機関からも期待されている為、推進すべきと考えます。	ミュオン科学は、21世紀のエネルギーを生み出す根本を担う施設であり、他研究機関からも期待されている為、推進すべきと考えます。
7638	その他	30～39歳	文部科学省	24141	特別研究員事業	このまま推進すべき	研究者を支援し、研究活動を強化することは大事。	若手研究者をぜひ支援してほしい。
7639	民間企業	40～49歳	経済産業省	27128	水素製造・輸送・貯蔵システム等技術開発	このまま推進すべき	70MPa級の水素ステーションの国内での充填実績は乏しく、耐久性の検証を重ねる必要がある。2015年からの普及開始を目前に控えた現在、実使用環境下における水素ステーションの構成機器の耐久性やシステムとしての健全性の検証は必要不可欠であることから、水素ステーションの耐久性検証にかかる研究事業の継続を強く希望する。	ステーション構成機器の耐久性とシステムとしての健全性の検証には、システムとして実使用環境下における繰返し試験が極めて有効であり、抽出された課題がメーカーにフィードバックされて確実に改良開発が進められることが重要であると考えられるため。
7640	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24176	光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発	このまま推進すべき	量子ビーム応用研究に不可欠な量子ビーム技術は、これからの生命・バイオ及び物質・材料研究におけるイノベーション創出に不可欠なキーテクノロジーであるので、優先的に推進すべきである。	量子ビームプラットフォーム形成に向けての光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発は人材育成の観点からも非常に重要である。
7641	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ	このまま推進すべき	疾病に関わるタンパク質の構造解析は、新しい予防法や診断法の提供難病の解明等に今後の医療に大いに貢献すると思われるため、推進すべきである。	疾患や薬剤の投与に関連する遺伝子やタンパク質の解析は、科学的知見に基づいた新しい予防法や診断法の提供等、今後の医療に大いに貢献すると思われる。
7642	大学・公的研究機関(独法・公設試)	20～29歳	文部科学省	24167	固体ロケット	このまま推進すべき	固体ロケット開発を継続すべきである。	固体ロケット技術は液体ロケット技術とあわせて重要なものであり、現在日本に運用可能な大型固体ロケットが無い状況は速やかに脱しなければならない。

	等)							
7643	民間企業	30～39歳	文部科学省	24148	理科教育等設備整備等補助	その他	子どもたちが平等に理科教育を受けられるようにしてほしい。	自治体の懐事情に影響されずに、実験ができれば理系の人間が増えると思う。理科室をもっと整備してほしい。古～いものが普通に置いてある。子どもには是非科学の面白さを知ってほしい。 面白さを知る機会が自治体、学校ごとに異なるのはおかしいと思う。日本が科学技術立国であれば、文科省として自分たちの給料を削ってでもやるべきことがあるはず。 無駄ばかりして子どもたちに何も与えない、ひどい国です。 子どもが一人いますが、二人目をためらいます。 日本人でいいのか……海外がいいのでは…と。
7644	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24178	大型放射光施設(SPring-8)	このまま推進すべき	J-PARCと並んで世界に誇る実験施設であり、日本の科学技術の発展のためにもぜひとも推進すべきである。	spring-8は国内外の研究者が利用する日本が誇る実験施設であり、この分野で日本の世界での地位を確立することは技術の発展のみならず日本の新たなビジネスとして期待できる。
7645	民間企業	50～59歳	総務省	20110	フォトニックネットワーク技術に関する研究開発	このまま推進すべき	現在の電気通信ネットワークを全て光信号で伝送・交換を行うネットワーク(オール光ネットワーク)への転換は、ネットワークの大幅な大容量化と低消費電力化を実現し、我が国の通信インフラの高度化に大いに貢献するばかりでなく、我が国の通信機器製造業の国際競争力強化ならびに国際貢献にもつながり、大いにこれらの研究開発を先行的に進めるべきである。	フォトニックネットワークの高度化は、今後、日本経済の生きる道である情報流通産業の興隆に不可欠のものであり、本研究開発を進めることにより、今後50年間の日本の経済維持、発展に大いに貢献する。特に「革新的光通信インフラ技術」は、世界でこれからのぎを削る分野であり、いち早く国家として、研究開発を支援すべき分野である。
7646	公益法人	30～39歳	文部科学省	24153	科学コミュニケーション連携推進事業(旧地域の科	このまま推進すべき	推進に賛成する。特に、テクノロジー分野よりも、サイエンス分野に重	先端科学ほど、一般人との理解の溝が広い。科学技術を推進するには、税金によらざるをえないが、理解の溝

					学舎推進事業)		きをおく。	が広くなるほど、困難になる。
7647	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24020	イノベーションシステム整備事業(イノベーション成長戦略実現支援プログラム)	このまま推進すべき	地域における科学技術振興は絶対必要。昨年の事業仕分けで地域の科学技術振興を否定する者が多くいたが、彼らは地域に出身者ではなく、現状を全く認識していない。既に地域の産業基盤が弱体化している中で、大学、地域企業、官の連携は絶対必要。なお、審査に当たっては、極力審査員には市場絶対主義者を排除すべきであるとともに、東京近辺での活動を主とする学識経験者や評論家も排除すべき。	地域の問題を議論するためには、地域の者が主体となるべき。審査に当たっても、まずは地域を重要と考える者が付くべきであり、前回の事業仕分けで活躍したような者は、地域振興のことを全く理解しておらず、このような者が参画することはプロジェクト推進の妨げとなる。
7648	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24190	科学技術振興調整費	このまま推進すべき	予算をふやして実施すべきである。	資源の少ない日本で、多様な科学技術を発展させることは、必須であり将来への投資である。また、日本国内での成果が若い人材確保にもつながると考えるので、ぜひ広い分野への支援をお願いします。
7649	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24149	国立大学法人等施設の整備	このまま推進すべき	大学がしっかりしないと、人財育成も研究も無理。	運営費交付金削減で新しい施設も、リノベーションも難しくなっている。
7650	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24131	ライフサイエンス基盤研究領域事業(内、生命分子システム基盤研究)	このまま推進すべき	これまでの成果や開発目標とされる技術については、どれもタンパク質に絡む今後の研究の発展に有意義である。ただし、どう絡ませていくかは、研究の舵取り役の資質にかかっています。	兎角、研究は研究者本位の研究方針で横道に逸れていき、国民が期待する成果とはまったく距離がある成果を研究者は出しがちです。それは研究者が、大学や公的研究機関にしか籍を置いたことが無く社会に出た経験の無いヒトに見られがちです。まず、自分がではなく国民が何を望んでいるかを真剣に考えて動くべきです。
7651	公益	40～	文部科学	24181	イノベーションシステム整備事業(地域)	このまま推進す	地方での産学官連携活	地方経済の活性化には産学官が連携した取り

	法人	49歳	省		イノベーションクラスタープログラム)	べき	動には必要	組みが必要なため
7652	その他	60歳～	経済産業省	27157	小型化等による先進的宇宙システムの研究開発	このまま推進すべき	わが国得意技術と半世紀にわたる宇宙技術・利用の成果を凝縮した本施策は、今後のわが国の宇宙開発利用分野、特に産業界の継続的発展に寄与すると考える	スピード感と継続性が期待できる
7653	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学・技術関係予算の質の向上、ひいては、我が国経済の中長期的な発展と国民生活の向上を目指す、という考え方に賛成です。ただし、科学研究費補助金によって実施されている基礎分野科学については十分なお配慮を頂きたいと思えます。基礎科学の成果は直ちに利益にはつながりませんが、知的財産の蓄積、人材育成等で貢献し、我が国の世界の中での地位向上に十分貢献します。目先の利益だけにとらわれて、基礎科学を軽視することの無いよう、お願いいたします。	次のようなエピソードをもって理由に代えたいと思えます。米国のフェルミ研究所のTevatronという素粒子研究施設についての莫大な予算をめぐって国会において議員と研究所長との間以下のようなやりとりがあったとそうです。「このような施設を作って、我が国の国防にどんな利益があるかね？」「米国を守るべき価値のある国にすることができます、議員。」Tevatronは現在でも世界最高の素粒子実験装置としています。
7654	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24010	女性研究者研究活動支援事業	このまま推進すべき	日本の優れた女性研究者を支援する本事業を推進するべきである。	日本では、優れた女性研究者が多いにもかかわらず、まだまだ研究の世界では男性中心の社会である。もっと女性の人材を活用するべく、研究支援をするべきである。
7655	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24167	固体ロケット	このまま推進すべき	固体ロケット研究は、より加速化し、我が国の宇宙科学をより活性化できるように積極的に投資し、加速すべきである。	M-Vロケットの廃止によって、日本の得意分野であった固体ロケット技術が潰えることのないよう、積極的に投資し、有用な小型、中型ロケットの開発を行っていく必要がある。
7656	その他	30～39歳	文部科学省	24191	第26号科学衛星(ASTRO-H)	このまま推進すべき	日本の研究所での電波天文学をぜひ推進していただきたい。	とても希望の持てる研究分野とプロジェクトです！
							・世界の研究動向と国民のニーズに即応するオールジャパンで最先	オープン・イノベーションは国家戦略による思い

7657	公益法人	60歳～	文部科学省	24136	世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)	このまま推進すべき	<p>端研究テーマ、大型・長期プロジェクトの創設を一定の予算規模で確保する。</p> <p>・先端研究は拠点を整備して、研究開発と同時に規制新設や改革、社会実験と社会導入に係わるシステムづくり等をモデル事業として推進する。</p>	切った資源投入が必須である。そのためには科学技術政策の決定メカニズムの変革が必須である。縦割り行政等を改め、国家重点政策をオールジャパン(産学政官)で行う等の改革を行う。
7658	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	<p>科学研究費補助金を増やしていただきたい。ましてや、減るようなことはあってはならないと思います。基礎研究はこれによって支えられており、これを増加させていくことは我が国の将来に大きな恩恵をもたらすと考えられます。</p>	「すぐに世の中に役に立つ」、「産業に直結している」といった範疇に入らない研究は科研費によってのみ支えられており、科研費は研究者の既存の枠にとらわれない自由な発想をサポートすることができる唯一の財源と言っても過言ではありません。そして、このような自由な発想から生まれた研究が将来上記の範疇に入るようになるからです。
7659	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設(J-PARC)	このまま推進すべき	<p>J-PARCは日本が誇る大型最新の大型の複合型研究施設であり、ぜひとも推進して欲しい。</p>	世界最先端の研究施設は、その施設で行われる研究の発展や若手研究者や学生の人材育成に大きな成果が期待でき、それは将来の日本の科学技術の基盤になるものである。また、その研究テーマから離れた部分に関しても新しい技術の種みたいなものが育つ可能性を秘めており(例えば、ヨーロッパ共同原子核研究機構が発端となった現在のインターネットの普及など)、これからも強く推進していくべきである。
7660	大学・公的研究機関(独法・公設試)	30～39歳	文部科学省	24174	革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ(HPCI)の構築	このまま推進すべき	<p>ハイパフォーマンスコンピューティングのインフラの構築を進めて欲しい。プロジェクト申請タイプのものの他に、京都大学基礎物理学研究所で行われているような、個人研究者が野心的な研究を行えるようなタイ</p>	ハイパフォーマンスコンピューティングは日本が世界の最前線で戦ってきた分野であり、これまでに多くの成果を上げて、そのノウハウを蓄積してきた。このような分野をさらにサポートして欲しい。その一方で大規模プロジェクト限定の研究は無難なテーマに偏りがちになる傾向が

	等)						プもバランスよく両立させて欲しい。	あるので、個人ベースで利用できるハイパフォーマンスコンピューティングインフラの整備も進めて欲しい。
7661	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24181	地域イノベーションクラスタープログラム	このまま推進すべき	地域経済が疲弊している現状では、産業の強化が不可欠だと考えます。そのためには、地域大学と一体となった取組が今後も必要であり、本施策の果たす役割は大きいと考えます。	本施策により、地域の中小企業が行えない取組を行うことができ、次世代の産業強化につながると思います。
7662	その他	60歳～	経済産業省	27157	小型化等による先進的宇宙システムの研究開発	このまま推進すべき	わが国得意技術と半世紀にわたる宇宙技術・利用の成果を凝縮した本施策は、今後のわが国の宇宙開発利用分野、特に産業界の継続的発展に寄与すると考える	スピード感と継続性が期待できる
7663	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	<p>今日ある国民生活は言うに及ばず、未来社会の人類活動の基盤となる科学・技術の展開の源としての基礎研究、その主軸である科学研究費補助金のこれまでに果たしてきた役割・重要性を踏まえ、また、国際競争力の伸長に向けた大学の教育力・研究力を強化するため、採択率の向上(30%)、配分額の充実、大学等研究機関の研究環境の向上に寄与する間接経費30%措置の予算確保が重要で早期実現すべきである。</p> <p>特に、研究活動の裾野の拡充(「基盤研究(C)」、実績を積み上げてきた研究者の更なる研究力の強化(「基盤研究(B)」、若手研究者に研究費を得る機会の提供(「若手研究」「挑戦的萌芽研究」の採択率の向上)を図ることが</p>	<p>我が国における基礎研究、特に研究者の自由な発想に基づく研究(学術研究)は、これまで基盤的経費(運営費交付金)や科学研究費補助金等により推進されてきた。</p> <p>しかし、国の厳しい財政事情により、昨今の大学における基盤的経費は減少の一途にあり、科学研究費補助金の伸びも鈍化するなど、研究環境は一段と厳しさを増し、酷い状況になっている。大学の現場を見て欲しい。</p> <p>また、事業仕分けの指摘は科学研究費補助金の意義・役割について十分な理解がなされておらず、大学の教員として危機感を覚える。諸外国が科学技術に戦略的に研究投資を行っている中で、我が国のこのような状況は非常に心もとない。研究環境を左右する科学研究費補助金の役割・重要性に鑑み、その強化・充実には予算の大幅増が必要である。早急に取り組まないと国際競争力</p>

							必要である。	はおろか、研究者の研究力の低下、次代を担う若手研究者の育成が困難となり、取り返しのつかない状況に陥ることになるであろう。
7664	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	厚生労働省	25109	地域医療基盤開発推進研究	このまま推進すべき	医療現場の安全確保や地域医療の基盤確保は、最も国民が求めていることであり、優先度の高い研究と考えます。特に、医療の高度化と共に、高度な医療機器や電子カルテを、ユビキタスネットワーク技術と組み合わせることで、医療現場でも、在宅でもより質の高い安全な医療を提供し、豊かで安心できる国民生活の実現が可能となると考えます。	医療分野は、最先端の科学技術を使った医療機器や薬剤、これらを使用した治療を数多く開発してきました。しかし、最新治療を受ける患者を受け入れる医療現場の安全は、医療従事者の努力にまかせられてきた現状があります。今後は、これまで以上に他の工業分野等では既に当たり前の技術やユビキタスネットワーク技術と組み合わせ、患者に安全な医療を提供できるシステムを開発し、提供することが医療従事者の願いです。
7665	民間企業	30～39歳	経済産業省	27018	次世代高効率照明	このまま推進すべき	安い照明が欲しい	LEDは高いから
7666	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ	このまま推進すべき	継続して行うべき研究テーマだと思います。	構造解析の難しいタンパク質も、疾患に関わるものは特に研究を続け、創薬に役立てていくべきだからです。
7667	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24141	特別研究員事業	このまま推進すべき	日本の科学技術発展のために、若手研究者への支援は必須である。特別研究員事業は、個人の若手研究者への支援として、その最も強力なものである。また、特別研究員任期後の進路は、大学・公的研究機関の研究者が非常に多い。	特別研究員は、特別研究員奨励費(科学研究費補助金)の応募が可能となり、また研究奨励金が給与として与えられる。科学研究費補助金に応募できることにより、自身が主体的に研究計画を打ち立てて、自由に研究を推進できる点が、柔軟な発想に基づく画期的な研究を行う上で不可欠である。また、特に学生にとっては研究奨励金をもらえることにより、アルバイトなど、研究以外のことに時間を取られることもないので、じっくりと研究に取り組むことができ

								る。これらは特に若手研究者の早期育成という観点で非常に重要である。
7668	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24010	女性研究者研究活動支援事業	このまま推進すべき	未だ支援事業は十分でなく、推進が必要なため。	未だに社会の女性研究者の受け入れ態勢や理解は十分でなく、よりいっそうの支援体制の維持が必要であるため。
7669	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24131	ライフサイエンス基盤研究領域事業(内、生命分子システム基盤研究)	このまま推進すべき	このまま推進すべきと考える。	これまでに立ち上げてきた技術・装置等を活用し、創薬に貢献することで我が国の役に立つであろうし、さらに新たな技術革新にも貢献できると考えられるため。
7670	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	60歳～	文部科学省	24001	大学グリーンイノベーション	推進すべきではない	拠点を作るのは教育的には長所があるが、目的をもった研究のために拠点をづくり、そこにいる人が、少し自分の専門分野に手を加えてそれらしくする従来のやりかたは結局稔が少ないと思われる。理化学研究所などその他の国立の研究所の半分くらいは10年単位の目的研究にたずさわられるような流動的な施設とすることが必要である。本当の専門家がその課題に取り組むことが必要。	従来の特定研究未来開拓研究その他をふくめたプロジェクト型研究の経験から。
7671	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	60歳～	文部科学省	24188	国際科学技術共同研究協力推進事業	このまま推進すべき	国際的な科学技術事業は日本の若手にも大切です。	国際的な科学技術事業は日本の若手の活動や教育に不可欠です。
7672	大学・公的研究機関(独法・公設試)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	大学や研究期間において行なわれる優れた学術研究は、国家の重要な財産と考えます。研究成果は直接及び間接的に人々の生活や健康あるいは文化等の質を高めることに貢献します。是非予算の削減に	優れた研究を緻密に進めて行くには、経済基盤が安定していることも重要な要素です。研究者が自由な発想の元、研究成果を蓄積し、優れた研究成果を創出できるよう科学研究費

	等)						ならないよう研究者育成、研究推進のための支援を継続していただきたい。	補助金の施策は推進すべきである。
7673	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	60歳～	文部科学省	24008	テニュアトラック普及・定着事業	このまま推進すべき	若手研究者が早くから自立的な研究環境を持ち、研究室を運営することは、将来的に見て優秀な研究者を育てるためにもぜひ、この事業は実行していただきたい。また大学のテニュアトラック教員を受け入れる環境整備を引き続き行うためにも、環境整備への支援もぜひ行っていただきたい。	研究者が早くから独立することは、マネジメント能力の強化になり、これらを若手の時期から経験することは、将来的に大きな規模の研究を推進するための糧となり、国全体の研究推進の原動力となる。本大学でもテニュアトラックを導入しており、優秀な研究者に来ていただいたおかげで、大学内へのよい刺激が与えられている。大学独自でもテニュアトラック制度を運営しているが、このような支援があると、さらにシステムの定着が加速できる。
7674	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	60歳～	文部科学省	24133	科学研究費	このまま推進すべき	国立法人大学の運営費交付金や人件費が削減され教育費を含む生活費が無くなって行く状況にあります。とくに工学分野の減退は、日本の経済を支える輸出能力を将来的に失います。世界に打って出られる明るい展望ができる施策を実施していただきたいと思います。	日本の輸入額はほぼ国家予算に匹敵します。それ以上の輸入をして、これまで成長してきました。その輸出の90%以上が工業製品です。それを担うのが、科学技術であることは言うまでもありません。その大きな投資が、科研費ですからそれを減額するということは、日本の将来を摘むことにつながることになります。是非賢明な施策をお願いします。
7675	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24138	Bファクトリー加速器の高度化による新しい物理法則の探求	このまま推進すべき	素粒子物理学など、基礎科学の研究において、世界的にも非常に重要な位置を占めているプロジェクトであり、今後とも強力に推進すべきである。	素粒子物理学など、基礎科学の研究において、世界的にも非常に重要な位置を占めているプロジェクトであり、今後とも強力に推進すべきである。
							J-PARCは世界最先端の科学を推進しており、日本の科学技術が国際競争力を維持するためにも必要不可欠だと思われる。また、世界トップクラス	J-PARCのような世界にも類を見ない施設を作ることは、総合的な技術力が必要であり、その成功は研究者ばかりでなく、それを支える数多くのメーカーにとっても誇らし

7676	民間企業	40～49歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設 (J-PARC)	このまま推進すべき	<p>の加速器を日本で発展させる事は、研究者、技術者の海外への流出を防ぐ意味でも重要と思われる。</p> <p>J-PARCのような最先端施設の建設は装置を開発するメーカーの技術力の向上にもつながる。</p>	<p>いものである。日本の発展はこのようなメーカーの力によって支えられており、科学技術立国としての日本の象徴ともいえるJ-PARCを推進することは日本の科学技術政策が目指すべき方向であると考えられる。</p>
7677	大学・公的研究機関 (独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24165	高度な3S「人材・技術」を……	このまま推進すべき	<p>重要な研究であり、着実に進めるべきものである。</p>	<p>日本にとって、必ず行わなければならない施策と考えられる。</p>
7678	その他	50～59歳	総務省	20110	フォトニックネットワーク技術に関する研究開発	このまま推進すべき	<p>光ファイバーは日本が世界一を誇る分野だからです。</p>	<p>予算削減をどうか止めてください。</p>
7679	大学・公的研究機関 (独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	<p>教育・基礎研究・人材育成に関わる施策を安易に変更するべきではない。施策予定期間内は予定通りの予算執行を行うべきである。実際には、施策によって育った優秀な研究者達が将来にわたって活躍できる場を継続的に提供する施策も必要である。一定期間後に見直し、廃止をする可能性は排除してはならないが、政府・文部科学省が責任をもってその総括をすべきである。</p>	<p>国家戦略としての人材育成に期待をかけて、多くの若者が研究者を目指している。施策途中での減額はこれらの若者を幻滅させ、路頭に迷わせることになる。新たな人材育成施策を実施してもこの不信を除くことは非常に困難になる。</p>
7680	大学・公的研究機関 (独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24188	国際科学技術共同研究協力推進事業	このまま推進すべき	<p>本事業は、科学技術立国である我が国にとって、言わば「科学技術という我が国最大の資源の輸出」である。今後さらに推進・強化すべきである。</p>	<p>事業は、科学技術立国である我が国にとって、言わば「科学技術という我が国最大の資源の輸出」である。輸出の対価は、数年程度の時間差で訪れる現状技術の新たな課題や問題点が明確になることそのものである。様々な国における文化や気候条件等において、我が国の技術を生かし、さらにその汎用性を高めるための課題をフィードバックさせることが今後さらに重要</p>

							である。	
7681	大学・ 公的研究 機関 (独 法・公 設等)	40～ 49歳	厚生 労働 省	25104	第3次対がん 総合戦略研 究	このまま 推進す べき	実施体制のなかに記載されている「既存研究成果を活かして強力的に研究を推進する課題」として「生活習慣に起因するがんの革新的予防法の開発」を加える。	死因の1位となっているがんは年々増加と一途をたどっており、特に大腸、乳腺、前立腺などのがんの原因として生活習慣の変化が指摘されている。がんによる死亡者の減少を目指すためには、生活習慣に起因するがんの予防は重要な研究課題である。
7682	大学・ 公的研究 機関 (独 法・公 設等)	60歳 ～	文部 科学 省	24143	大学院教育 改革推進事 業のうち、グ ローバル COEプログラ ム	このまま 推進す べき	この施策は、博士課程学生を国際競争力を持つ研究者に育成するのに、大変効果があることが確認されており、特に重点的に継続して推進すべきであると考えられます。いる。また、海外機関との共同研究や留学生数の増加に伴い、もともと高度な教育力、研究力を持っている大学をさらに国際的に卓越した教育研究拠点としています。	博士課程の学生や留学生を育成するには、高度な教育力・研究力の他、学生への経済的支援が必須です。この施策は現在人材強化に効果を上げていますが、これを維持するには予算の裏付けが必要です。大学の国際競争力が上がった効果として、外部資金の獲得件数も増加してきており、このことがさらに教育力・研究力を高めていく相乗効果が得られています。
7683	大学・ 公的研究 機関 (独 法・公 設等)	50～ 59歳	厚生 労働 省	25109	地域医療基 盤開発推進 研究	このまま 推進す べき	我が国の高品質な医療水準を維持していくためには、IT技術と融合した新しい医療機器の開発が必要である。そのためには、政策面での援助が不可欠で、医療従事者が医療機器のアラームに対してより適切に対応することが可能になり、医療事故の軽減に繋がる。また、高性能な機器では、自動記録が可能になり、そのデータを解析することで、迅速で正確な医療事故調査に役立ち医療の透明性確保が可能になる。その結果、信頼性の向上に繋がり医療の質と安全を高めることが出来る。	在宅の老々介護時の安心見守りや位置情報収集による徘徊見守りもICT技術を応用することで可能になり、患者のQOLの向上と在宅療養の推進が期待される。災害時、トリアージ後の患者の心電図等のアラームと位置情報から患者の救命や、救急搬送患者の生体情報転送による受け入れ病院選択にも応用可能である。このように、今後その応用範囲を広げ国民生活の向上に役立つものと期待される。
	大学・						独)海洋研究開発機構は、海洋、大気、生物が相互に結び付いたシステムを研究する日本で唯一の機関であり、地球環境問題の解決に短	

7684	公的研究機関 (独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24109	独)海洋研究開発機構運営費交付金「地球環境変動研究」	このまま推進すべき	大気・海洋の監視や、そのための技術開発、予測技術の改善、それらを支える基礎的研究を、今後も継続して長期的に推進すべきである。	期的、中期的に貢献しているだけでなく、大気・海洋の監視や、そのための技術開発、予測技術の改善、それらを支える基礎的研究を長期的な展望に基づき継続して行なっている。今後の施策決定のために必要な科学的情報を提供することが十分に期待できる。
7685	民間企業	30～39歳	文部科学省	24119	ナショナルバイオリソースプロジェクト	このまま推進すべき	本事業は学界の発展において非常に有益なものであり、また、産業の発展にも寄与する重要な事業と考えます。	本事業は、遺伝子資源の供与に留まらず、供与によって得られた知見をフィードバックする仕組みで運営されており、学界の継続的な発展に貢献すると期待されます。また本事業で供与される遺伝子資源、そこで得られた技術知見が産業に応用されることで、産業の一層の発展、新事業創出等にも繋がると期待されます。
7686	大学・公的研究機関 (独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24174	革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ(HPCI)の構築	このまま推進すべき	計算科学は、基礎科学の進展に非常に重要な役割を果たしており、さらに産業への波及効果は今後ますます大きくなっていくと考えられ、本プロジェクトの意義は大きい。	計算科学は、基礎科学の進展に非常に重要な役割を果たしており、さらに産業への波及効果は今後ますます大きくなっていくと考えられ、本プロジェクトの意義は大きい。
7687	民間企業	40～49歳	経済産業省	27001	グリーンセンサ統合制御システム実証プロジェクト	このまま推進すべき	MEMSをはじめとしたセンシング、そしてそのネットワークを活用した最適制御による電力削減は今後ますます重要となってくる。実用化を加速するためにも産学官連携した開発体制が必要と考える。	センサネットの実用化が進まない背景には、投資対効果が明確にできていないこと、および、MEMS、無線、制御等の多くの技術の融合が必要であり企業単独では難しいといったことが上げられる。企業間、大学、産総研等の連携を加速し、実証実験を行い早期にセンサネットの価値を明確にすることが重要である。
7688	大学・公的研究機関	60歳	内閣	13101	沖縄大学院	推進すべきでは	沖縄振興のために設置されたということだが、そのためならば、まず沖縄の高校や大学を充実し、レベルアップをして、国内から多数の学生が学び、地元の若者	同上

	(独 法・公 設試 等)	～	府		大学	ない	も学ぶことができるようにすることがまず必要。そのうえでこのような大学院があってもいいとは思いますがまず方針を転換するべき。	
7689	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	30～ 39歳	文部 科学 省	24174	革新的ハイ パフォーマン ス・コンピュ ーティング・イ ンフラ(HPCI) の構築	このまま 推進す べき	現在のように複雑な理論計算を行ない、実験などと比較して世界レベルの基礎研究を進めていく上では HPCI の存在は不可欠であり、是非促進してほしい。	日本がこれらの基礎科学で世界最高水準を維持することは、国民の教育、文化レベルと活力を高める。また、技術革新や産業の創出につながり、長期的な日本の発展に寄与することは間違いないので、この計画を進めることを希望する。
7690	その他	50～ 59歳	総務 省	20102	超高速光エッ ジノード技術 の研究開発	このまま 推進す べき	光通信・技術は、今後日本の重要な分野として期待されるものです。世界的な中心産業になっていくと考えます。超高速光エッジノード技術の研究開発を推進することで、日本の産業の発展及び雇用の対策になるとおもいます。	この研究開発をさらに推進し、日本の未来に、技術と人材を育てていくべきだと思います。
7691	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	30～ 39歳	総務 省	20004	脳の仕組み を活かしたイ ノベーション 創成型研究 開発	このまま 推進す べき	「平成23年度の科学・技術に関する予算等の資源配分の方針(概要)」に照らしてみても、「ライフ・イノベーションの推進」に資すると考える。	BMIとICTの組み合わせによる技術の開発に、介護における課題の解決を期待するため。課題の特徴を考慮して「国民との科学・技術対話推進への対応」にも積極的に取組まれない。
7692	民間 企業	50～ 59歳	経済 産業 省	27167	二酸化炭素 削減技術実 証試験事業	このまま 推進す べき	CO2排出量の大幅削減を可能とする二酸化炭素回収・貯留(CCS)技術については、必要性は理解されていると考えられます。したがって、実証試験により、基盤技術を確認することが実用化のためには重要と考えられます。	本事業では、火力発電所等のCO2の大量発生源等からのCCSを想定しています。発生源として、2015年からの燃料電池自動車(FCV)の市販開始の際のFCVに必要な水素ガスを製油所で製造・精製する際にCO2が併産されるため、FCVによるCO2削減効果をより大きくするには、製油所水素ガス精製の際に併産されるCO2をCCS回収することも非常に重要と考えられます。
	大学・ 公的						原子核物理・ハドロン物理など、基礎科学の進	原子核物理・ハドロン物理など、基礎科学の進

7693	研究機関 (独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設 (J-PARC)	このまま推進すべき	展に非常に重要な実験である。より多くの科学的成果が出せるよう、測定設備の整備などに、より一層の予算措置を講じて推進すべきであると考えている。	展に非常に重要な実験である。より多くの科学的成果が出せるよう、測定設備の整備などに、より一層の予算措置を講じて推進すべきであると考えている。
7694	大学・公的研究機関 (独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24138	Bファクトリー加速器高度化による新しい物理法則の探索	このまま推進すべき	この施策は新しい物理法則を見出すためのものであり、それは長期的に見て人類の発展につながるの、大変意義があるものだと思う。また、日本は、資源も少なく、外国に誇れるものとして科学、が挙げられる。Bファクトリーは小林、益川理論の証明したKEKBの流れの上にあるものなので、世界に対し日本をアピールしていく上でも、有効な施策になると思う。更に、このような大型の計画は、今後を担う若手研究者に働く場を与えることにもなり、それは、今後の日本の世界的地位を落とさないためにも大切なことだと思う。	申し訳ないですが、「ご意見」と「その理由」に分かれている意図がわかりません。「推進すべきかどうか」に対する「理由」がこの「その理由」に書くべきことなのではないでしょうか。だとするとその前の「ご意見」には何を書けばよいのでしょうか。答えやすい形式のアンケートにしてください。
7695	大学・公的研究機関 (独法・公設試等)	20～29歳	経済産業省	27005	グリーン・サステイナブルケミカルプロセス基盤技術開発	このまま推進すべき	バイオマス資源の利用は国をあげて取り組むべきだと思います。	限りある石油資源の節約が求められる今、高い技術を持つ日本は、バイオマスの有効利用において、世界をリードしていく責任があると思うからです。
7696	大学・公的研究機関 (独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24013	理数学生育成プログラム	改善・見直しをした上で推進すべき	理数科学学生の発達スケジュールにはかなりの個人差があり、全学一律の育成プログラムでは物足りなさを覚える学生もいる。個人の要望に応じていろいろなプログラムを提供出来る仕組みを用意することは悪いことではない。しかし、その反面このプログラムがエリートコース的扱いとなるのでは、満足な効果を発揮出来ないこととなりかねない。あくまでもオプション的なものとして提供する等の配慮が必要である。	学習過程に時間を要するという事は、必ずしも能力不足を意味することではない。じっくり考えてより深い理解をすることも、有能であることの重要なファクターである。従って平均的スケジュールより早く学習を進めたということをや不必要に評価表彰するような教育制度を提示することは、必ずしもよい結果を生まない。

7697	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24149	国立大学法人等施設の整備	このまま推進すべき	高等教育は、国の未来を見据えて十分な投資をする必要がある。	特に地方大学において、大学というのは若者を地域に呼ぶ重要なポイントであり、活力の原点である。
7698	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24178	大型放射光施設(SPring-8)	このまま推進すべき	SPring-8 は、基礎科学の発展や、産業の発展に、これまでも大きな成果を挙げてきた。今後も推進すべきであると考ええる。	SPring-8 は、基礎科学の発展や、産業の発展に、これまでも大きな成果を挙げてきた。今後も推進すべきであると考ええる。
7699	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24186	知財活用支援事業	改善・見直しをした上で推進すべき	大学などで得られる知的財産のうちには、財産権として開発者にむくいたほうがよいものもあるが、知的公共財として世界のだれでも利用可能にしたほうがよいものもある。エネルギー資源節約技術、地球環境情報解析技術などの多くはそれにあたるだろう。オープンソースソフトウェアのように著作権を主張したうえで自由な流通を認める方法もある。特許については、他の主体が先に特許をとるのを防ぐために、公知の事実にしてしまえばじゅうぶんな場合と、特許をとったうえで利用権を公開すべき場合があると思う。個別の知的財産の利用可能性に合わせて柔軟に対応していただきたい。	特許などの知的財産権が期限つきになっているのは、発明者にむくいることと社会全体が知識を得ることとのバランスを考えてできた制度である。発明が社会で活用されるためには両方の配慮が必要だが、どこでバランスをとるべきかは技術の性格や需要者の社会経済的地位によって違ってくる。社会的正義には財産権保護も含まれるが、それは一要因にすぎないことを考慮して価値判断をしていただきたい。
7700	民間企業	50～59歳	経済産業省	27108	低炭素社会を実現する超低電力デバイスプロジェクト	このまま推進すべき	あらゆる面からのエコ技術への転換が求められている現在、電子機器を構成するデバイスの低電力化は必須であり、技術立国日本が世界に先んじなければならぬ分野である。	日本の電子機器産業は、かつてのように世界ダントツであった時代から、大競争の中にある。技術立国日本として、危機感を持ってこの分野の産業育成に力を注ぐ必要がある。
7701	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科研費は、日本での科学研究に非常に重要な役割を果たしてきた。今後も推進すべきである。	科研費は、日本での科学研究に非常に重要な役割を果たしてきた。今後も推進すべきである。

	設試等)							
7702	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24010	女性研究者研究活動支援事業	このまま推進すべき	女性研究者を増やすということは、今から育つ若い女性への啓蒙、現在を牽引している研究者、特に男性の意識改革を進め、やっとな将来的に実現できる。長期的推進が必要。	女性研究者を増やすことは、すでに世界的に推進が奨励されており、日本における進捗の遅さは憂慮すべき問題である。
7703	その他	50～59歳	総務省	20110	フォトニックネットワーク技術に関する研究開発	このまま推進すべき	光通信・技術は、今後日本の重要な分野として期待されるものです。世界的な中心産業になっていくと考えます。フォトニックネットワーク技術に関する研究開発を推進することで、日本の産業の発展及び雇用の対策になるとおもいます。	日本の光通信技術・光ファイバーサービスは、世界のトップクラスです。これお維持しさらに発展させるためにこの研究開発をさらに推進し、日本の未来に、技術と人材を育てていくべきだと思います。
7704	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24188	国際科学技術共同研究協力推進事業	このまま推進すべき	世界に誇れる日本独自の科学・技術を広く国際社会に役立ててゆくための施策として、より発展的に推進してゆくべきと考えます。	たとえば、地球環境問題を解決するための日本独自の科学・技術は世界に誇れるものですが、地球規模の問題に対応してゆくためには、日本の科学・技術を日本国内にとどめておくのではなく、世界、特に発展途上の諸外国に広く提供し流通させ、共有の知恵として諸外国と一緒に活用してゆくことが重要と考えます。
7705	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	経済産業省	27006	グリーン・サステイナブルケミカルプロセス基盤技術開発(次世代グリーンイノベーション評価基盤技術開発)	このまま推進すべき	有機ELの性能を左右するのは、有機材料や周辺部材の品質や性能であるといっても過言ではない。まだ、商品が世の中に広く出まわっていない今のタイミングで、素材メーカーに底力をつけてもらう必要があると思う。また、有機ELを世の中に広めるためには、消費者にその品質の高さを示す必要がある。そのなかでも、品質寿命を保証することは非常に重要であるため、寿命を決定するファクターを正確に評価する技術は不可欠であるといえる。	LCDのように韓国や台湾メーカーに主導権が奪われるようなことがあってはならない。大型資金の投入は今でも遅いぐらいである。日本の材料メーカーの持つ精密合成の力は素晴らしいものがあるので、ここでその力をさらに伸ばしてもらい、韓国や台湾の追随を許さない産業に仕上げてもらいたい。

7706	その他	60歳～	文部科学省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ	このまま推進すべき	私が革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブに包括されるターゲットタンパク研究に直接関わる者であることを差し引いても、本プログラムはこのまま推進されるべきであると強く考えます。これによって2002年より世界をリードする形で継続的に整備された基盤からは、次代の基礎研究、産業応用の核になると思われる成果が次々と上がっており、こうしたプログラムの推進を減速することは、今後の日本にとって大きな損失になるものと考えます。	ある事物の「機能」を知るためには、その「かたち」を見ることが基礎的に極めて重要です。生物の機能を担うタンパク質分子の「かたち」を見るためには大規模な放射光施設をはじめとするインフラが不可欠であり、こうした基盤整備は国の施策でなければ実現不可能です。また、基礎研究から創造的な将来の産業応用が生まれてくることは明らかであり、ライフサイエンスにおける国際的な知財競争力の観点からも、国の施策として推進することが重要と考えます。
7707	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	研究者の研究活動を支える重要な競争的資金であり、予算規模を拡充すべきである。	新しい研究の芽を育てるためには、採択率を上げて、多くの研究者を支援する必要がある。
7708	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	総務省	20115	先端ICT技術に関する研究開発	このまま推進すべき	諸々の科学技術の連携を視野に入れてICTの技術革新を標榜している点に、今後の社会を支える基盤の形成を期待する。	生命のしくみを理解しようとしてきた取り組みが、工学と科学の連携により、社会のしくみづくりに反映される足がかりと考えるため。生命と社会を関係づけて「国民との科学・技術対話推進への対応」を押し進めることも期待する。
7709	民間企業	40～49歳	文部科学省	24174	革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ(HPCI)の構築	このまま推進すべき	この施策の継続・推進を是非とも求めます。	次世代スーパーコンピュータを中核とするインフラの構築を中止することは、海外への頭脳流出を招き、国力の衰退を意味します。天然資源に乏しい日本において、多様な領域の研究基盤であるHPCIの整備は、日本が国際社会で生き残るための競争力を確保する上で、最も効率的な方法の一つと考えられます。
7710	その他	30～39歳	文部科学省	24125	免疫 アレルギ科学総合研究事業	このまま推進すべき	父がてんほうそうで以前入院したのもっと研究を進めてほしいです	免疫は人にとって大切なものなので この先進歩した研究が必要でとおもいます

7711	民間企業	20～29歳	経済産業省	27007	次世代印刷エレクトロニクス材料・プロセス基盤技術開発事業	このまま推進すべき	印刷による電子デバイス作製技術の確立は、科学技術力を世界に対し優位としている日本が、国をあげて取り組むべきである。国が主導し産学官の連携をとり、スピードを重視し国際競争力のある技術を育てていき、継続的な日本の経済成長を後押ししていくことが、重要である。この技術は、今後日本の科学技術を支えていく重要な技術である。	印刷により作製される電子デバイスは、低コストで、大面積化も可能であり、かつ、フレキシブル基板を用いることによる割れないデバイスの実現など、様々なメリットがあり、次世代の電子デバイスに求められている技術である。現在、i-Padが数百万台売れており、持ち運びが容易なディスプレイ市場は、低コスト、軽量でさらに拡大することが容易に考えられる。このような有用な技術を、世界に先駆けて確立することは、日本の科学技術分野にとって有用である。
7712	公益法人	40～49歳	文部科学省	24181	地域イノベーションシステム整備事業(地域イノベーションクラスタープログラム)	このまま推進すべき	研究開発を進めると同時に、研究成果を地域業に役立て、地域産業の育成、クラスター形成、地元自治体が一体となった取り組みが進められようとしているので、このまま推進していただきますようお願いいたします。	研究開発の成果が地元企業の製品となるには数年必要です。また、私たちの地域では、これまでの取り組みが地元自治体を巻き込んだ大きな動きになろうとしています。自治体が動くということは、住民もこの取り組みを理解し、賛同する証です。このまま推進していただくことが国民の理解を得られることと思いますので、是非ともお願いいたします。
7713	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	日本が目指すべき特長ある魅力的な国を達成するためには、第一級の研究者を育成することは必須である。積極的に博士課程(後期)の大学院生を支援するグローバルCOEプログラムは、その根幹をなすものであり、このまま推進すべきである。	経済的な理由などで、その可能性を閉じてしまわずであった人材が、本プログラムにより、その資質を開花させつつあるように見受けられる。すなわち、本プログラムは、現在、大変有効に機能しているので、このまま推進すべきである。
	大学・公的						国立大学法人等施設から著名な人材が輩出されていることは過去の例から明らかであり、日	国際化の進む世界において、資源も少なく有効に活用できる土地の少ない日本が諸外国と渡り合うためには、科学技術力を利用した商品やサービスを提供していかなければならないことは自明である。これらの

7714	研究機関 (独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24149	国立大学法人等施設の整備、継続	このまま推進すべき	本国内あるいは国外から優秀な人材を呼び込み、留めるにはよりよい研究環境が必要であり、国立大学法人等施設の整備、継続は優先されるべきであると思う。	質の高い技術力を生みだし、維持していくためにはよりよい研究環境が必要となる。逆に研究環境が劣悪になれば優秀な科学者の国外への流出という事態も起こりうる。よって国立大学法人等施設の整備、継続は必要不可欠であり、優先されるべきものと思われる。
7715	大学・公的研究機関 (独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24019	数学・数理科学と他分野の連携拠点形成支援プログラム	改善・見直しをした上で推進すべき	申請予算額が少なすぎる	ただ集まって議論を交わすだけではなく、数学と他分野の連携を目指した拠点生成を進めるためには、多くの数学・数理科学者が企業との連携を模索できる環境作りが重要である。お見合いの場所として、模索する段階でも小さくてもよいので数力所の試験的拠点が必要だと思われる。
7716	民間企業	40～49歳	総務省	20109	革新的な3次元映像技術による超臨場感コミュニケーション技術の研究開発	このまま推進すべき	超臨場感コミュニケーション技術の実現により、対面コミュニケーションのための人の移動を減らせることができ、二酸化炭素排出量の削減効果が期待できる。また、ワーク・ライフバランスの改善につながる可能性があり、より豊かな生活への礎を構築するものと期待される。	
7717	官公庁	50～59歳	文部科学省	24181	イノベーションシステム整備事業(地域イノベーションクラスタープログラム)	このまま推進すべき	本事業は、「優れた研究開発ポテンシャルを有する地域の大学等を核として、産学官連携基盤を構築し、イノベーションを連鎖的に創出するクラスター形成を図るため、大学等の産学官共同研究等の支援を実施」するもので、地域の活性化及び国全体の科学技術の振興を図る上で極めて重要であるため、事業終了予定の平成25年度まで、確実に実施する必要がある。また、本事業終了後も、	現下の厳しい経済環境下において、本事業は、ものづくりに対する地域中小企業の熱意を高める契機となるなど、地域経済の活性化に大いに寄与している。また、日本は、科学技術の発展により、世界有数の工業国の地位を築いたところが大きく、将来にわたって高い技術力を維持し、国際競争力を高めていくことこそ、日本の進むべき道であり、本事業は、地域の科学技術活性化を通じて、今後の日本の活性化に極めて重要な役

						同様の事業を創設することを強く要望する。	割を果たしていくものである。	
7718	官公庁	50～59歳	文部科学省	24181	イノベーションシステム整備事業(地域イノベーションクラスタープログラム)	このまま推進すべき	<p>本事業は、地域の大学等研究機関の地域貢献機能の強化により、大学等研究機関の研究成果を地域の活性化につなげるもので、地域にとって極めて重要であるため、実施をお願いしたい。</p> <p>併せて、ほぼ同じフレームで事業を実施している「地域中核産学官連携拠点事業」で採択された地域で本事業と同じ事業を実施している場合は、本事業による支援を受けられるような制度とすることを強く要望する。</p>	<p>本事業は地域の大学等研究機関の連携による地域貢献機能の強化を図る上で極めて重要であるため、ぜひ実施をお願いしたい。</p> <p>一方、ほぼ同じフレームの「地域中核産学官連携拠点事業」において実施している同種の事業については、何ら支援措置の追加が講じられず、制度間の不均衡が著しいと考えられる。</p>
7719	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	<p>名古屋大学グローバルCOEプログラム「宇宙基礎原理の探求」の研究アシスタントをしております。</p> <p>上記の施策に関して、現状のまま推進すべきと考えます。</p>	<p>グローバルCOEプログラムでは、各拠点で世界レベルの様々な研究グループが幅広い視点から研究を進めています。多くの研究会、セミナー等がグローバルCOEプログラムによって開催されており、我々若手研究者が世界の第一線の研究者の方々のお話を伺う機会があります。このような充実した環境は、グローバルCOEプログラムがなければつくることができないものです。そのため、グローバルCOEプログラムに関して現状のまま推進すべきと考えます。</p>
7720	民間	30～	総務	20108	ICTグリーンイノベーション	このまま推進す	<p>2020年にCO2排出量25%削減(1990年比)を達成するためには、あらゆる可能性を追求する必要があり、その観点からは、総務省情報通信審議会「研究開発・標準化戦略委員会」答申等で挙げられた、「エコ物流・安全交通システム」「高度生産・購買・流通支援システム」「エコエネルギー</p>	<p>民間の技術シーズを幅広く活用しつつこれらの研究開発を進め実用化まで到達するためには、本施策のように競争的資金によるスキームが極めて有効である。また、上記審議会答申で「この研究開発分野固有の研究開発課題」として挙げられている、「エコドライブ技術」「高度ドライブレコーダ技術」「可視光通信技</p>

	企業	39歳	省		ン推進事業	べき	マネジメントシステム」「テレリアリティシステム」「省資源システム」「ICT機器・ネットワーク自体の省エネルギー化」「環境情報の流通・分析・判断・制御」「環境情報の計測」に関する技術開発を、今後も本スキームの優先的な実施により加速することが極めて重要である。	術」「直流電源融合高速通信技術」「省電力近距離無線通信高度化技術」「パワーセンシング・分析技術」「地域内電力制御技術」についてはまだ未着手の部分も多いため、引き続き本施策で研究開発を進めるとともに、実証も含めて成果(=CO2削減効果)を世に示すことが必要である。
7721	民間企業	30～39歳	総務省	20118	未利用周波数帯への無線システムの移行促進に向けた基盤技術の研究開発	このまま推進すべき	本施策によって、周波数の有効利用を一層促進するとともに、開発成果の実用化によって我が国ICT産業の国際競争力向上と社会課題の解決を同時に実現することは極めて重要であるため、本施策を力強く優先的に推進することに期待する。	ミリ波を用いた映像伝送技術は既に一部実用化されているが、今後さらに高精細な映像や3D映像の拡大や、身近な情報家電機器でのリッチコンテンツ伝送の普及拡大が見込まれる中、我が国技術の優位性を確保するためにも、さらに超高速な近距離無線伝送技術の開発が不可欠である。また79Ghz帯レーダは欧州でも車載用途で開発が進められているため、我が国が車載に加えて交差点等でのインフラ用途も含めて開発・低コスト実用化ができれば、国際競争力強化に大きく資するとともに、交通事故防止という形で電波有効利用メリットを国民に大きく還元できる。
7722	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24149	国立大学法人等施設の整備	このまま推進すべき	公開に意見を述べる場を設定いただきありがとうございます。 私は、国立大学の施設整備に携わっている者ですが、資源の乏しい日本の採る道は科学立国であるとして、国を挙げて推進しているところです。その基盤となる施設環境は、耐震化88%まで達成していますが、今もって満足のいくものではなく、老朽化が著しく維持管理もままならない状況です。また、人材養成をはじめ、先端的研究、地域貢献、国際	

						<p>化等の多様な機能が大学に求められている中、その環境造りも急務です。これらのことを踏まえ、「国立大学法人等の施設の整備」予算の増額を望む者です。</p>
						<p>科学技術関係施策の優先度判定等の実施に関する意見募集について申し上げたい。</p> <p>国民生活に資するイノベーションの名のもとに、全ての省庁ですべて国民生活にまで至る目標を掲げたプロジェクトが目白押しだが、同じ省内でも区別が付きがたいほど似ているものが多々あり、「継続」となっているということは省内にも縦割りがあり、整理ができていないことを意味する。こんなものを提示して、人気投票を参考にするというのが、科学技術を国家戦略に掲げる国のすることだろうか。</p> <p>エネルギーならエネルギー、ガンならガン、ITならITで、全省庁まとめて、とことん国の未来のために、今何ができて、5年後なにを実現し、10年後にはどうなっているのか、を議論し、海外や科学・技術の動向を全体の流れの中に位置づけた、ロードマップを作成するのがまず第一にすべきことではないのか。そして、その中で各プロジェクトがどのような役割を担い、それに対して重要度優先度に配慮して、どれだけの予算を必要としているかを明確にした上で、国民に問うのが筋ではないのか。こんな、同じような中身を手を変え品を変え並べ立てた資料でコメントを求めることこそ、無策、怠慢の現れ以外の何者でもない。</p>
					大学・	

7723	公的研究機関 (独法・公設試等)	40～49歳	その他	0	その他	その他	<p>そういう仕事をするために官僚があり、それをしない慣習を改革することが、官僚制度改革に求められることで、官僚を悪者よばわりすることではない。事業仕分けの意味は、惰性で継続することではなく、一度立ち止まって、精査することにあつたはずである。いつまでに来年度予算を決めなくてはいけないので、時間がない、というのは、制度の運用だけを最優先し、国家戦略を先送りしているようにしか思えない。政府の役割は、その年だけの予算を期日までに作るのではなく、10年50年と先を見越して今必要な、予算を配分していくことではないのか。スローガンに合わせて既成の事業を再構成して焼け太りを黙認するより、今、政治が再出発をする時だからこそ、緻密な調査と明確な目標設定を行い、科学的な判断に基づく科学政策を立て直すべきである。アメリカはいつだってそうやっている。日本は、はやぶさ、のような単発の計画が成功すれば、二匹目のドジョウを作るだけで、宇宙開発全体がどうなっていて、その中のどういう意味があるプロジェクトであるという発想は皆無に等しいか、又は国民が納得できる形で提示されたことはない。日本人は、目先のことしか考えない愚民だからこれでいいのだと思いたくはない。各法人の何々プロジェクトなどというレベルではなく、今こそ国全体として仕分け直すチャンスはないのではないか。真摯にご検討いただきたい。</p>
------	---------------------	--------	-----	---	-----	-----	---

7724	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	60歳 ～	文部 科学 省	24143	大学院教育 改革推進事 業のうち、グ ローバル COEプログラ ム	このまま 推進す べき	来年度以降、大学への 運営交付金の削減が検 討される中、本プログラ ムは地方大学にとって 地域産業に密接した教 育研究活動を行いなが らそれをグローバルに 発展させる上で重要な 施策であると思われる。 すなわち、限りある研究 費の中で効率よくかつ ハイレベルの教育研究 活動を行うにはこれま で以上に教員同士が力 を合わせていくことが必 要である。例えば本学 (福井大学)工学研究科 には高分子科学を専門 分野とする教員が数多 く在籍し、活発な教育 研究活動を行っており、 アジア地域およびヨー ロッパからの留学生も多 い。また、福井は全国 有数の繊維産地であ り、高分子科学に深く関 連している。これらの特 徴を生かし、国際的に 卓越した教育研究拠点 が形成されやすい環境 にあると考えている。同 じような事例は多くの地 方大学にあると考えら れ、平成24年度以降も 本プログラムの継続を 希望する。
7725	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	50～ 59歳	文部 科学 省	24149	国立大学法 人等施設の 整備	このまま 推進す べき	国立大学法人等施設の 整備についてですが、 今の予算規模でも予算 が配分されない大学が ある状況なので、今以 上の予算を配分される ことをのぞみます。
							国立大学法人等施設 の整備について、創造 性豊かな人材養成や独 創的、先端的な学術研 究、高度先端医療等を 推進するための基盤と なる施設を整備が必要 である。 大学等は、我が国の 教育及び学術研究の根 幹を支えるものであり、 将来にわたる社会の発

7726	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	50～ 59歳	文部 科学 省	24149	国立大学法 人等施設の 整備	このまま 推進す べき	<p>展の基盤の構築に寄与すべきものとして、国際的な魅力を発揮し、知の拠点としての役割を果たしていくことが期待されている。その中でも、国立大学法人等は、創造性豊かな人材養成に寄与するとともに、独創的・先端的な学術研究を推進するなど、我が国の高等教育と学術研究の中核を担ってきた。また、全国的に均衡のとれた配置により、地域の教育、文化、産業の基盤を支え、学生の経済環境に左右されない進学機会を提供するとともに、生涯学習社会の実現や地域社会の活性化に貢献するなど、重要な役割を果たしてきた。国立大学法人等の第2期中期目標期間が始まった現在も、国立大学法人等の使命は変わるものではなく、法人化のメリットを活かした機能の充実が一層期待されている。</p> <p>国立大学法人等は、国の施設整備方針を踏まえた施設整備補助金による整備に加えて、自らの経営判断により施設やキャンパスの個性化を図るなど、自主的、自立的に多様な財源を活用した施設整備を実施してきた。また、学長等のトップマネジメントのもと、施設マネジメントなど経営的視点に立ったシステム改革を実施してきた。</p> <p>国と国立大学法人等は、適切な役割分担の下、一体となって施設整備を進めてきており、今後も、第2期中期目標・中期計画を踏まえた施設整備・活用を進めていく中で、今後も継続した予算処置が必要である。</p>
------	--	------------	---------------	-------	----------------------	-------------------	--

7727	大学・ 公的研究 機関 (独 法・公 設試 等)	50～ 59歳	そ 他	0	その他	その他	<p>このような意見募集の際の基本的な質問があります。</p> <p>常にと言っていていいと思うのですが、こちら側の意見を言う機会を与えて頂けるのは、ありがたいと思うのですがその猶予期間があまりにも短いと思います。</p> <p>もう少し長い期間に渡って意見を募集するようにしていただけたらと思います。</p>
7728	民間 企業	60歳 ～	経 済 産 業 省	27176	固体高分子 形燃料電池 実用化推進 技術開発	このまま 推進す べき	<p>1. コスト低減という大きな壁がありながら、自動車用燃料電池と定置用燃料電池の開発で、日本が米国や欧州より先行していることは明解。</p> <p>2. コスト低減という大きな課題をクリアするためには、産業界に複数のメーカーが存在しなくてはならない。日本にはコスト低減によって実用化にすぐ繋げることができる自動車メーカー(トヨタ、ホンダ、日産)があり、定置用燃料電池メーカー(ENEOSセルテック、東芝燃料電池システムズ、パナソニック)がある。</p> <p>3. 技術のブレークスルーには、その技術を瞬時に生かすことができる体力(資金力)のあるメーカーの存在が不可欠。</p> <p>4. 従って、今の時期に、予算カットをおこなうことは得策ではない。</p> <p>結論: 予算カットには不賛成。但し、技術へのチャレンジにはリスクはつきものであり、プロジェクトの方向性の確認、プロジェクト継続の賛否については、海外の開発状況の収集、海外での本研究成果の報告をおこない海外の研究者との連携を密におこなうなど万全の態勢を準備</p>

							することが不可欠。	
7729	その他	60歳～	文部科学省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ	このまま推進すべき	<p>蛋白質構造解析(構造生物学)は、あらゆる生命現象の根幹を解明する研究であり、日進月歩の技術革新が行われている。また、生命研究を創薬、食糧問題と言った社会応用に結びつけるには、蛋白質の立体構造に立脚したデザインが必須である。従って、本施策はさらにいっそう国家プロジェクトとして研究費を投入し、発展させ、社会還元させていくものである。</p>	<p>構造生物学は、日本で行われている研究の中で、ほぼ唯一、欧米日と3立できる優位に立った研究分野であり、昨今の「1番じゃなきゃだめなんですか、2番ではだめなんですか」という某発言が日本中のブーイングを醸し出したことに反面的に、よりいっそう国家プロジェクトとして維持・発展させるべき研究施策である。</p>
7730	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24140	RIビームファクトリー計画の推進	このまま推進すべき	<p>世界最大強度のRIビームを用いた研究は是非続けるべきだと思います。世界一の研究が日本で行われるという事だけでも世界の先頭をいっていることで注目されることであるが、そのような環境中で若手研究者を育てなければ、今後日本の科学の未来が心配です。理科離れなども激しくなるのではないかと思います。</p>	
7731	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24010	女性研究者研究活動支援事業	このまま推進すべき	<p>私も女性研究者の卵として、現在、出産、子育てしながら研究が続けていけるか不安に思っています。私も研究分野は物理学で、女性は少なく、出産・子育てしながら仕事を続けていくには、それなりの環境が絶対必要だと感じています。特に日本では外国に比べて女性研究者は少なく、やはりそこには出産・子育てという壁が大きく立ちはだかっているのではないかと、先輩からの話を聞いて分析しています。すぐに女性研究者の状況が変わるかはわかりませんが、そのような環境が作られなければ、少なくとも私が生きている間に変わらぬと思えません。</p>	
							私も大学院で博士課程	

7732	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24012	博士課程教育リーディングプログラム	このまま推進すべき	を経験した者として、非常に重要だと思えます。私は物理学の博士課程を経験しましたが、周りには非常に優秀なのに、その能力をいかしきれずにいる人がたくさんいます。現在はどちらかという博士課程では専門性を得るということに注目されているが、その専門性をいかした次の事を考えなければならぬと思う。特に、専門性を生かして、世界をリードする能力なども身につけるべきと考えます。
7733	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24009	特別奨励研究員事業	このまま推進すべき	若手研究者を奨励することは非常に重要だと思えます。若手研究者の間に、主体的に自ら希望する箇所での研究することは、“研究者”となるためにとても大切です。若手の間に、主体的に研究活動することはたとえ短い期間であったとしても、その支援により世界に先駆けるすばらしい成果が出る可能性は、格段にあがると思えます。
7734	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	経済産業省	27007	次世代印刷エレクトロニクス材料・プロセス基盤技術開事業	このまま推進すべき	上記事業は、半導体素子を印刷プロセスにより形成するための基盤技術を開発するものと思えます。印刷による半導体素子形成技術の開発は、高生産性、汎用性、簡便性を兼ね備えた、革新的な半導体素子形成プロセスにつながるものです。非常に重要な事業と考えております。
7735	民間企業	40～49歳	総務省	20112	ユニバーサル音声・言語コミュニケーション技術の研究開発	このまま推進すべき	日本語および多国語のコーパスを収集し、その言語モデル、発話モデルを開発することは、音声認識および通訳システムを開発することができます。その基盤成果(データベース、モデル)が公開 本研究開発では産官学で共有すべき言語モデル、データベースを開発しており、このまま推進どころか、より重点的に資本投下を行うべきと考えます。特に小さな企業まもない会社に音声認識・翻訳の基盤を利用するこ

						されて、多くの企業が競争的環境中で利用することができれば、国内産業の発展に大きく寄与するものと思われま	とができ、開発の活性化が進みます。官と産の役割分担が理想的に行えるプロジェクトと考えます。
--	--	--	--	--	--	---	---